

低炭素社会の実現に向けて、 さまざまな事業で幅広く挑戦を続けています。

中長期的な視点に立って、
関西電力は今後も電気の
低炭素化を推進していきます。

関西電力は、中長期的に地域の低炭素化をすすめる「関西e-エコ戦略」を実施中です。供給面では、原子力発電の安全・安定運転の継続、火力発電の高効率化、水力発電・太陽光発電・風力発電等の再生可能エネルギーの開発導入など「電気の低炭素化の取組み」。需要面では、ヒートポンプ技術を活用した高

効率機器や電気自動車の普及拡大など「お客さまと社会の省エネ・省コスト・省CO₂への貢献」、そしてそれらをつなぐ高効率、高品質、高信頼度の電力流通システムである「関電のスマートグリッドの構築」を、一体として推進していきます。また、途上国への環境技術移転や再生可能エネルギー事業の実施などの海外での取組み、さらには、お客さまの省エネ・省コスト・省CO₂に貢献する技術開発などを通じ、持続可能な低炭素社会の実現に向けて貢献していきます。

お客さまに低炭素な電気をお届けする。そのためにさまざまな取組みに挑戦しています。

関西電力は、さまざまな取組みによってお客さまにお届けする電気の低炭素化をすすめています。2011年度のCO₂排出係数は、0.414kg-CO₂/kWh*となりました。

*暫定値であり、正式には「地球温暖化対策の推進に関する法律」などに基づき国から実績値が公表されます。

次世代の高品質な電気を実現する。それが「関電のスマートグリッド」です。

スマートグリッドとは次世代の送配電網のことで、今後の低炭素社会の実現とサービスのさらなる向上には欠かせないものです。関西電力グループでは、スマートグリッドを「基盤となる電力システムの安定性を失うことなく、低炭素社会の実現とお客さまの利便性向上を目的に、情報通信技術、蓄電池技術などの新技術を用いて、高効率、高品質、高信頼度の電力流通システムの実現をめざすもの」と位置づけています。これを「関電のスマートグリッド」と呼んでいます。

「関電のスマートグリッド」は、より低炭素な電気をお届けします。

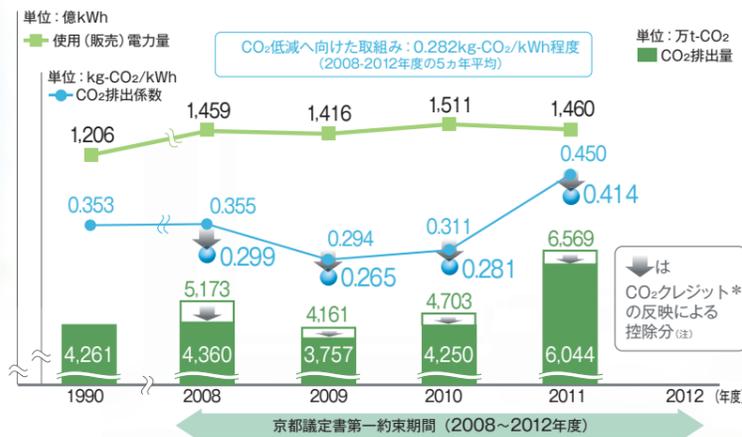
太陽光発電などの、気象条件によって出力が大きく変わる新エネルギーが、大量に、もしくは集中的に電力システムに入ってくると、電圧や周波数などの電気の品質に影響が出る可能性があります。関西電力は、こうした影響がお客さまに及ばないように、「関電のスマートグリッド」構想をすすめて、より低炭素な電気をお届けしていきます。そのために、系統運用・制御技術の開発や電力需給制御システムの研究などをすすめています。

「関電のスマートグリッド」は、お客さまへのより細やかなサービスを実現します。

「関電のスマートグリッド」構想が実現する高品質なサービスの一つに、お客さまの省エネルギーの支援があります。これは、お客さまが省エネ・省コスト・省CO₂を意識しながら電気をご利用いただけるよう、新計量システム（スマートメーター）の導入や「エネルギーの見える化」（はぴeみる電）をすすめることです。これによってお客さまの電気のご利用状況が詳細に計測できるようになり、よりきめ細やかなエネルギーコンサルティングが可能になります。



■CO₂排出係数などの推移



(注): 2005年度以降の数値は、「地球温暖化対策の推進に関する法律」上の「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度」に基づき、計算しています。また、2011年度調整後排出係数は、CO₂クレジットの反映による控除分の他に、太陽光余剰買取制度の下での環境価値の調整も含まれます。

* CO₂クレジット: 先進国などにおける温室効果ガスの排出量と相殺できる温室効果ガスの削減・吸収量の権利のこと。

